

(蒲郡市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 13校、中学校 7校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	0人	
		地域学校協働活動推進員	24人	
		統括コーディネーター	3人	
		地域コーディネーター	0人	
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小 7校	中 4校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 13校	中 7校	



(活動の実際) ～蒲郡中学校協働本部～

(方針)

- ・学校支援ボランティアを派遣するとともに、中学生が地域でボランティアとして活動する場を設定する。
- ・中学校区の3小学校の推進員と連携を図りながら、協力して活動を進めていく。

(活動内容)

- ◇中学生が地域でボランティアとして活動する。
 (くらふとフェア蒲郡、福祉まつり、公民館でのポスター教室、子ども食堂、530運動等)
 - ◇休日に中学生が地域の先生に学ぶ。
 (竹島観光ボランティアガイド体験、ケーキづくりにチャレンジ、蒲郡山友会と五井山に登る等)
 - ◇学校支援ボランティアを派遣する。
 (授業と部活動のサポート、学校畑の耕し、体育大会の際のテント設営、水泳授業の際の施設へ引率等)
 - ◇その他の活動
 (学区4校合同モルック大会、保護者とお話会、お昼のコンサート、公民館に生徒の作品を展示等)
- (活動で意識していること)
- ・生徒や教師の意識を高めるために、職員室前の掲示板に地域学校協働活動コーナーを設ける。そこにボランティアに参加した方々の顔写真を掲示したり、活動の様子をタイムリーに知らせたりする。
 - ・中学校区で協力して活動が行えるようにするために、定期的に話し合いの場をもつ。そこには4校の推進員だけでなく、教育委員会の担当者、管理職も参加し情報共有を図る。

(◎成果と●課題)

- ◎中学生が地域や公民館の行事に関心をもち、様々な形で地域のボランティア活動に参加することができた。
- ◎技術木工の授業、部活動指導など地域の方々に手助けしてもらうことで、教師の負担が軽減された。また、ボランティアの方々も生徒と触れ合うことで充実感をもつことができ、生きがいにもつながった。
- 学校支援ボランティア及びボランティア活動に参加する中学生が限られてしまっている。今後幅広い方にこの活動について知ってもらい、参加してもらえるような手立てを講じていきたい。

(関係者の声) =できるだけ多様な立場の方々の御意見を記入

- ・ポスター教室に参加しましたが、小学生一人一人にアドバイスすることは簡単ではありませんでした。でも「ありがとう」と言ってもらえたことが、何よりも楽しくよい経験になりました。(生徒)
- ・小さい子供やお年寄りの方と一緒に遊んだり、お話が出できたりして楽しかったです。(生徒)
- ・教師一人ではできない指導を専門の方に手伝っていただき、きめ細かい指導ができました。また、自分の力量を高める機会にもつながりました(教師)
- ・中学生と触れ合うことができ、とても新鮮で楽しかったです。また、機会があればこのような活動に参加したいです。(地域の方)